

問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部航海情報課

主任海図編集官 細萱(ほそがや)泉

電話 03-3541-4201 (内線 648)



平成21年10月1日

海上保安庁

日本から提案した6件の海底地形の名称が国際的に登録されました

世界の海底地形名の統一を図っている大洋水深総図(GEBCO)/海底地形名小委員会(SCUFN)が開催され、日本から提案した下記6件の海底地形名が国際的に承認・登録されました。

香取海山(かとりかいざん) 拓洋第4海山(たくようだいよんかいざん)
拓洋第5海山(たくようだいごかいざん) 鬼界カルデラ(きかいかるでら)
風神海山(ふうじんかいざん) 雷神海山(らいじんかいざん)

国際水路機関(IHO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)が共同で推進するGEBCO(大洋水深総図: GEneral Bathymetric Chart of the Oceans)委員会は、全世界を均質にカバーする海底地形図を作成するための国際プロジェクトで、その中に世界の海底地形名の統一を図ることを目的とした海底地形名小委員会(SCUFN: Sub-Committee on Undersea Features Names)があります。

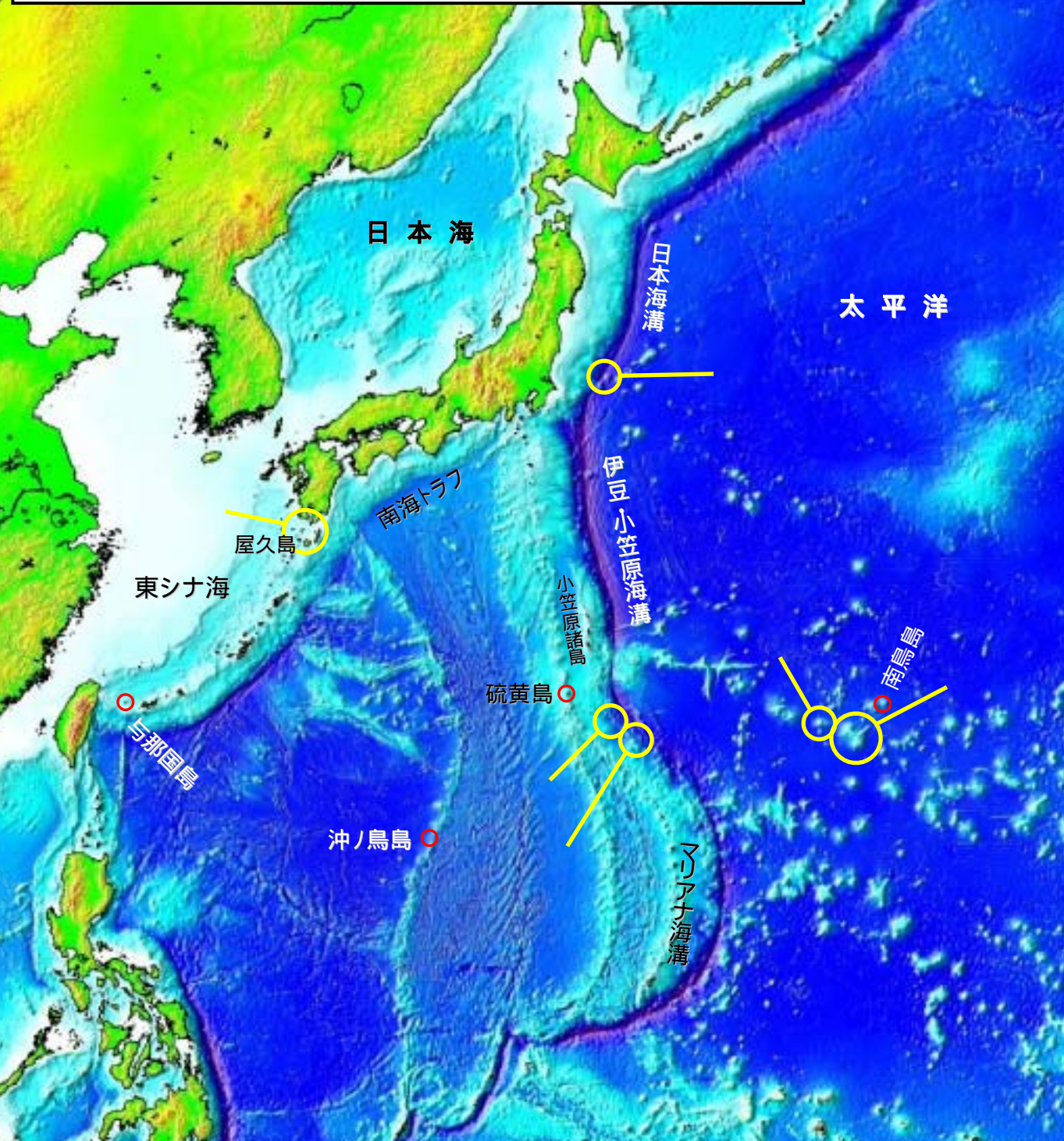
この度、第22回SCUFNが9月22日から26日まで、フランス(ブレスト)で開催され、世界各国から提案された海底地形名が審議されました。

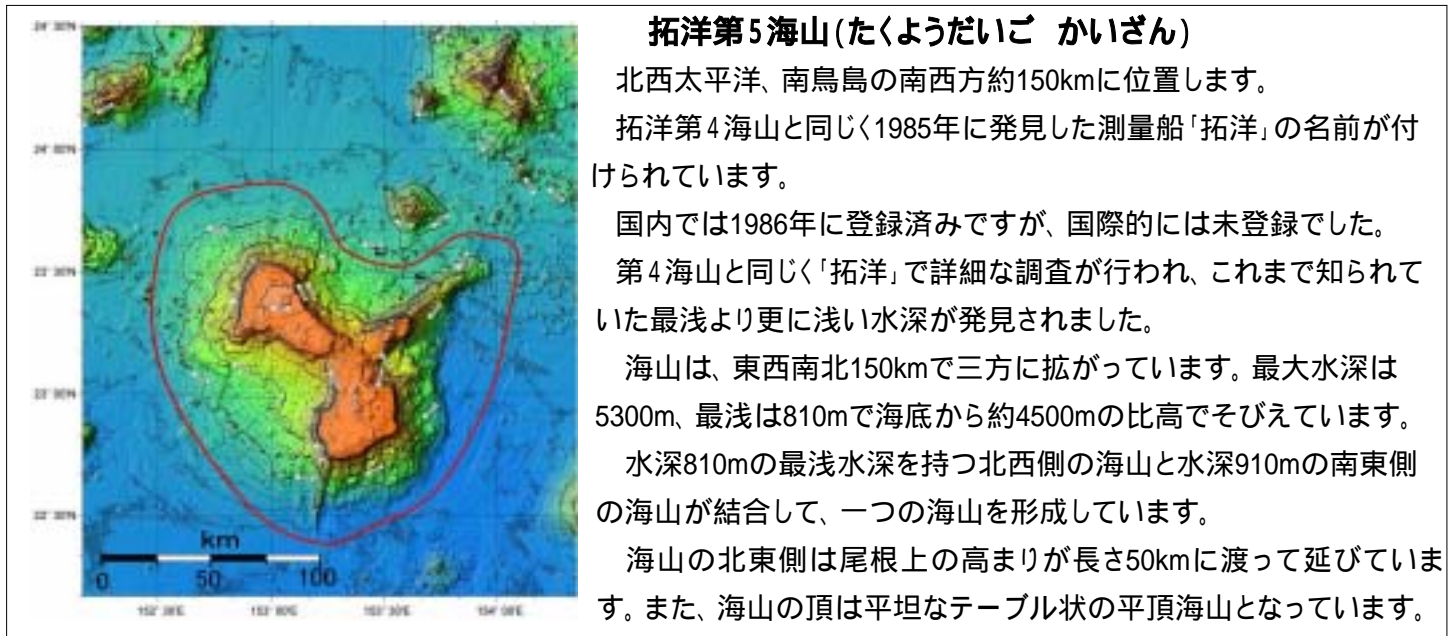
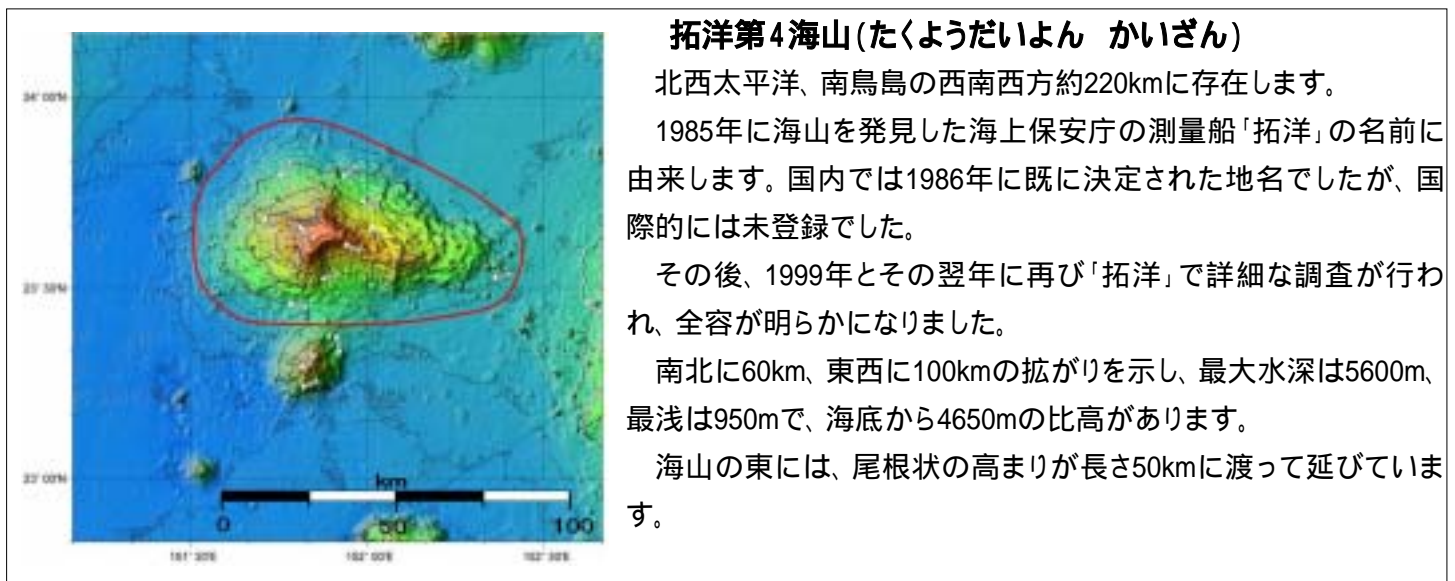
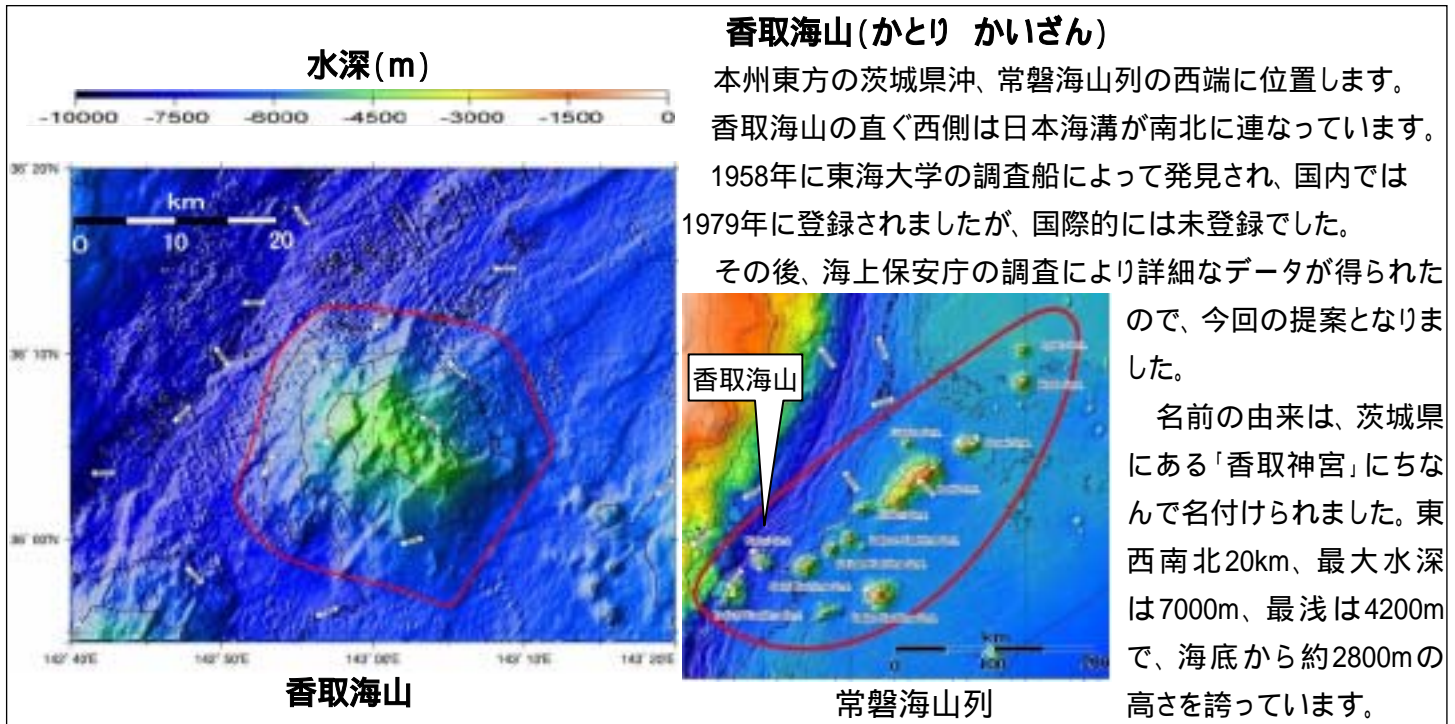
日本からもSCUFN委員である海上保安庁職員を派遣するとともに、新たに発見された海山や国際的に登録されていない海底地形名6件をSCUFNに提案しました。

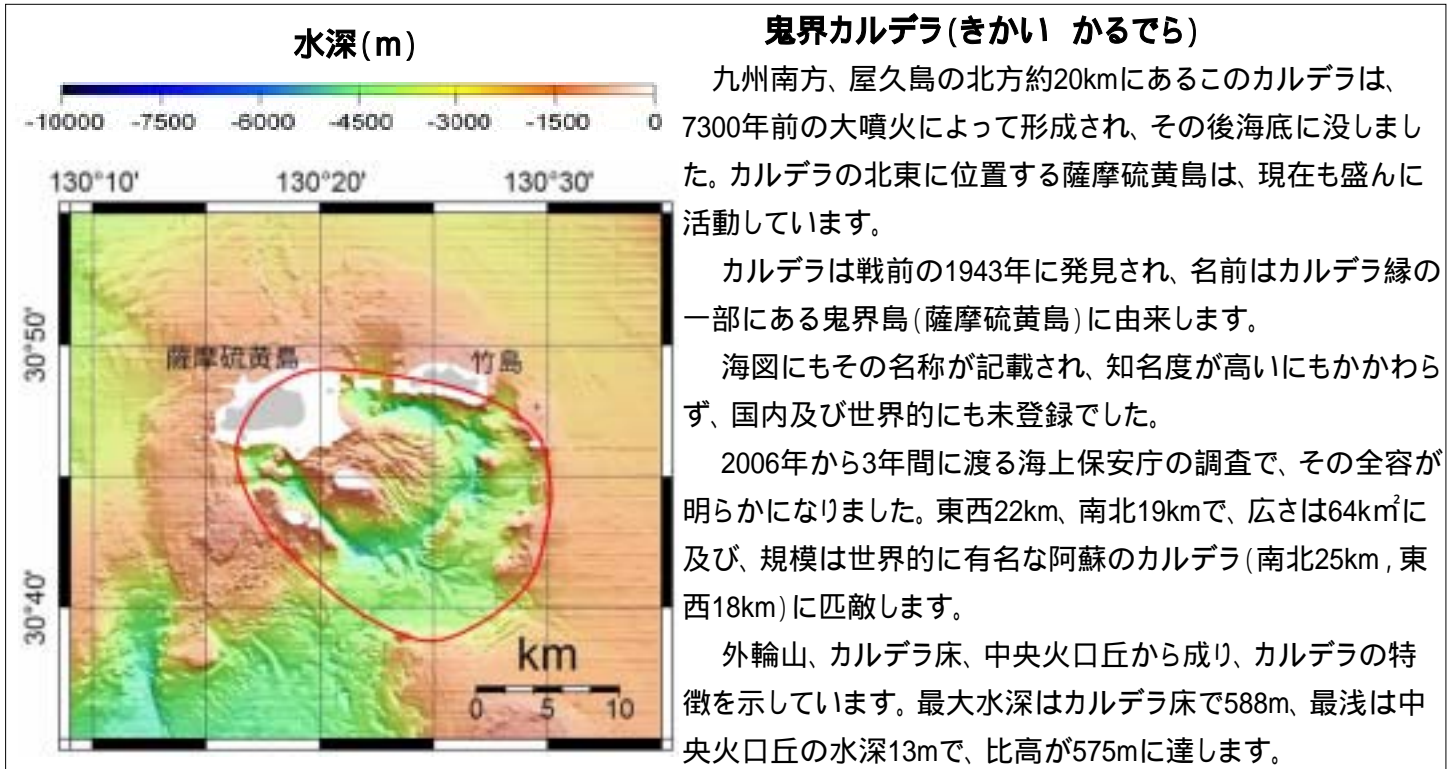
日本のほか6カ国と個人から49件の海底地形名が提案され、審議の結果、26件が採択されました。日本の提案地名は全てが承認され、GEBCOに登録されました。

第22回GEBCO/SCUFNで登録された日本が提案した海底地形名位置図

香取海山(かとりかいざん) Katori Seamount
拓洋第4海山(たくようだいよんかいざん) Takuyo-Daiyon Seamount
拓洋第5海山(たくようだいごかいざん) Takuyo-Daigo Seamount
鬼界カルデラ(きかいかでら) Kikai Caldera
風神海山(ふうじんかいざん) Fujin Seamount
雷神海山(らいじんかいざん) Raijin Seamount







風神海山(ふうじん かいざん)

硫黄島の東南東方約200kmにあるこの二つの海山は、今年の調査で発見され、熊本大学から提案されました。独立した一対の海山であることから風神雷神屏風図(国宝;17世紀前半の俵屋宗達の作、京都建仁寺蔵であるが現在は京都国立博物館に寄託されている)になぞらえて、北部が「風神海山」南部が「雷神海山」と名付けられました。

風神海山は、東西南北約20kmに及び、最大水深4920m、最浅は3275mで比高が約1600mあります。

雷神海山は風神海山の南東方約50kmに位置し、南北15km、東西25kmに及びます。最大水深5649m、最浅は3738mで、比高は約2000mあります。

雷神海山(らいじん かいざん)

